

10周年



KOBE

神戸大学体育会洋弓部

1974年(昭和49年)10月
発行

クラブの現状

十二代主将 村田 克明

現在、我部は人数面においては何ら心配するところはなく、他の体育会系サークルがうらやましく思う程の男女合わせて70名近くという大勢の部員をかかえるほどになりました。

水曜日・土曜日の週2回の一斉練習という形式をここ2、3年受け継いでいるのですが、この点だけからみれば、少ない練習量の故にこんなにも大勢の部員がいるのだらうと思われるかもしれませんが、しかし、毎日レンジをのぞいてもらえばわかることですが、一週間を通じて、レンジに部員の姿の絶えることはなく、毎日だれかが弓を射っていることも忘れてはいけないことだと思います。授業などの関係で一斉練習に参加できないものも、自分なりに時間を見つけて練習しているものもたくさんいます。

クラブとしては、最低の条件を提示しているに過ぎず、部員個人の意志次第で、一週間弓を全く射たないことも可能ですし、一週間毎日、弓を射つことも可能なわけです。要するに部員の自主性に負うところが大きいわけです。今のところは、これがいい方向に進んでいるため、あまり心配することもないのですが、ひとたび悪い方向に進んだ時は改めて考え直さなくてはならないでしょう。よく“授業優先”ということがクラブ活動をやる上で言われますが、授業優先というよりは、授業もクラブ活動も同一のレベルにあたるものと考えるべきだと思います。

さて、これだけの大勢の部員がいると、どうしても自分は何もしなくても他の人がやってくれるだろうと思う者も出てくるでしょう。自分はただ弓を射っていればいいというのではなく、クラブ活動というものについて自分なりに考え、自分なりにクラブにかかわっていかねばならないと思います。ともすれば、運動部は体さえ動かしていればいいという風潮があるのですが、頭も動かさなくてはならないでしょう。

我部のムードは非常に家族的と言っているほどなごやかなものが満ちています。確かにこのことはクラブ活動の上で大切なことですが、その上にはっきりとした“けじめ”が要求されるでしょう。練習中と、それ以外の時のけじめをはっきりさせていかなければなりません。

我々幹部がこれだけの大きなクラブを動かしていくにあたって、最も大切なことは、我々が部員を信頼すること、そして、部員が我々を信頼してくれることではないでしょうか。


ともあれ、舞台装置の完全にそろった我部は、来春のリーグ戦において、一部復帰をめざしてがんばっていくつもりでありますので、先輩諸氏の暖かい声援と御指導をお願い致します。

さて、長年親しんでまいりました理学部前レンジから、やむをえない事情により立ち退かなげ

ればならなくなりました。新レングス完成の折には、先輩の方々にも集まっていたいで射初会などを催したいと思っておりますので、その節はよろしくお願い致します。

夏合宿での一言

現部員一同

押し手の弱さに心のあせり、ガンバーガンバーガンバラナクツチャ  S・N

8ヶ月、すびきでじつとがまんの子 K・T・

矢つがえをぬけると、そこはそばうちだった F

クリツカーがなんだ！ もと早気より H・A

飛んでけヤー（矢）ちゃんゴールドへ HT

行くなヤー（矢）ちゃん、石垣へ T・U

飛び飛ぶ飛べ、私のヤー（矢）ちゃん飛んだかな T・S

ノークリは音無しの構えで勝負する M・T

神戸のアーチャーは何故女的的を射るのがへたなのか？ T

吹けよ風、呼べよ600点 M・S

ゴールドちゃん、大きく大きく大きくなあれ K・S

いとしのわが子は金的か、はたまたしげみのほら穴か T・U

あー、ユミはわたしの首をしめるビービーよ S・T

ヨーシ、バツク、その一声のカッコ良さ K・M

あしんど、なんで落ちぬかクリツカー T・F

今は〇〇と呼ばれても、仏になって引退します K・M

黄色よ黄色よ黄色ちゃん、私のアローがすぐ行くよ N・K

風吹くな！ クリツカーは急におとせない！ S・Y

弓できたえたこの体、もらって下さい、だれかさん。 I・C

今日も今日とて弓を引いては涙ぐむ。 C・N

あいつのいない洋弓部なんて M

フォームをただせば心もまっすぐ、右左よく見て射とうアーチェリー N・A

ビッグゲームで優勝したい。 M・S

「もう三秒間待つのだぞ！」「先輩！放したい！」 O

くやしかったらノークリで射ってみる T・Y

どこかで誰かが弓を射っている。それは私なのだ Y・T

矢さがしをしなくてすむトップアーチャーになりませう M

洋弓は技に非ず精神力也、自分に勝つ事也。 H・W

自分との闘いを知ったのは洋弓である。 I

あせらず怠けず常にマイペースでがんばるのです。 K・O

フアイト！ フアイト！ フアイト！ T・W

弓は心で射つものです！と言えたらなあ……………。

クリツカーが楽におちますように O・S

私は早気ではない、六秒間持っている。 K

気の弱いワタクシメには精神的な強さが必要なデス。 K・M

サロンパス、ヒリヒリしみる下半身痛さこらえて風呂場へ走る。 Y・K

早く矢をもてるようになりたい。 M・F

大学生活4年間を洋弓にかけよう。 N・S

ゴールド射っても金的うつな。 Y・K

クリツカーを落として点を上げよう。 S・Y

素引きこそ、我が命。 Y・W

来年こそ一部復帰を！ T・O

時間がない、それでも落ちぬクリツカーそこできんばるこのフアイト H・G

僕の洋弓における目標は、力、安定、ダイナミックです。 Y・S

GOLDを射ぬけ！でも今は無理な望み。 T・T

洋弓部一味ちがいます。躍進！ K・O

未来のトップアーチャーめざし、ただ努力あるのみ。 T・M

アーチェリーとは、心でこそ射つものと覚えたり。 H・S

この先輩にしてこの後輩、よく10年ももったものだなあ。 N

距離を打ちたい！ Y・O

いつもかよわく弓を引くひとりぼっちの女の子。 K・K

ぼくも女は大好きです。 T・T

やってみて、はじめて面白くなるスポーツ M・S

1日1本、3日で8本、今日も出てゆく的外。 K・Y

たかが弓ごときになめられるなんて、くやし！ M・S

夢を射る！ K・M

クラブ、弓、女に強くあたりたい僕。 N・S

ゆるみ、ゆるみながらも、今日も的にたどりつく。 K・K

ホイットは600点出る弓とは限らない。 J・U

俺にも無理な事がひとつあった。1441点 K・S